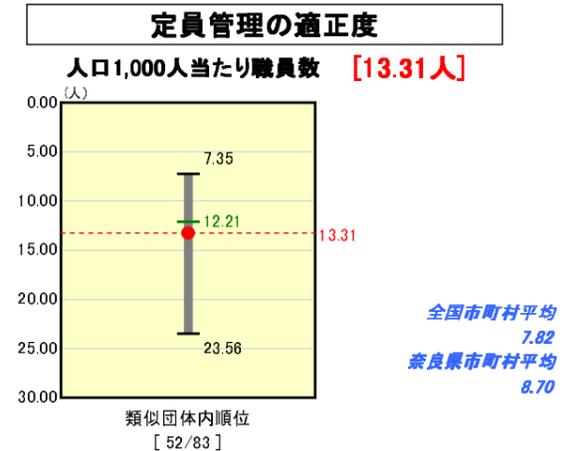
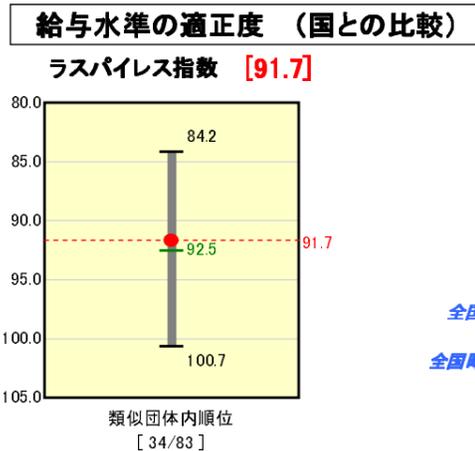
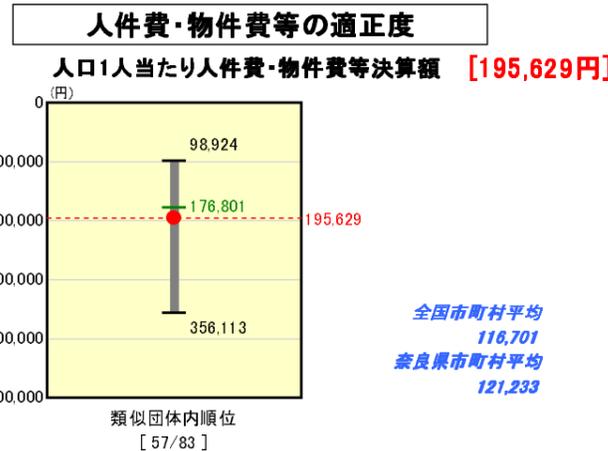
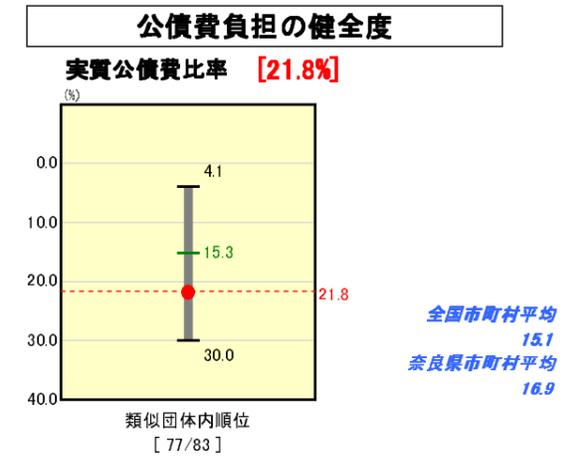
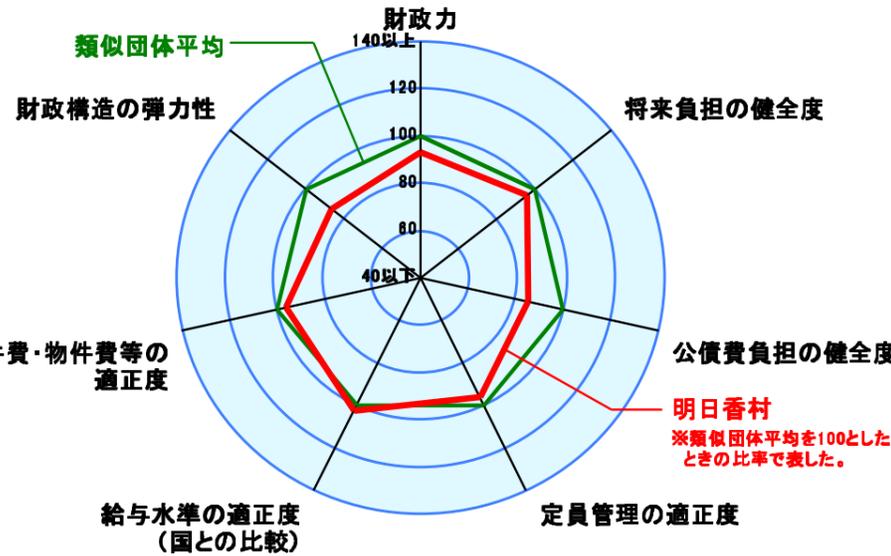
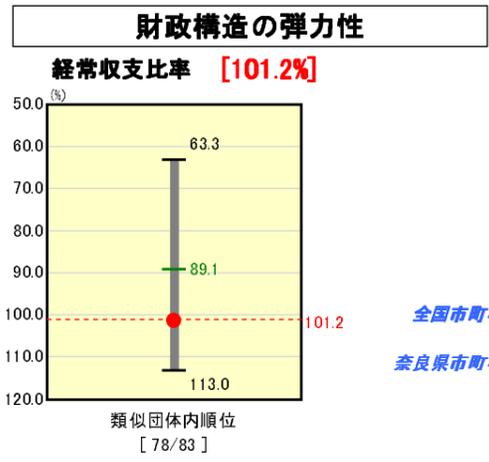
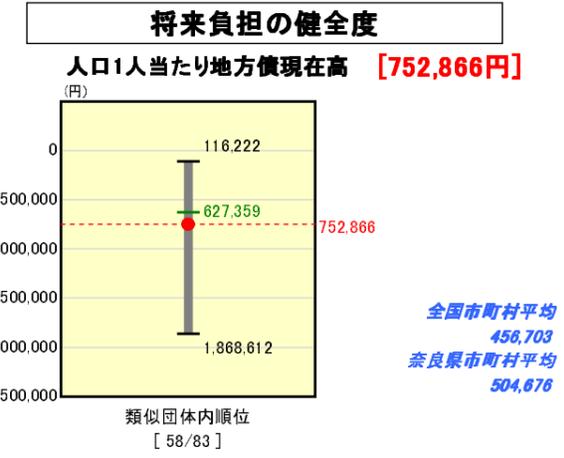
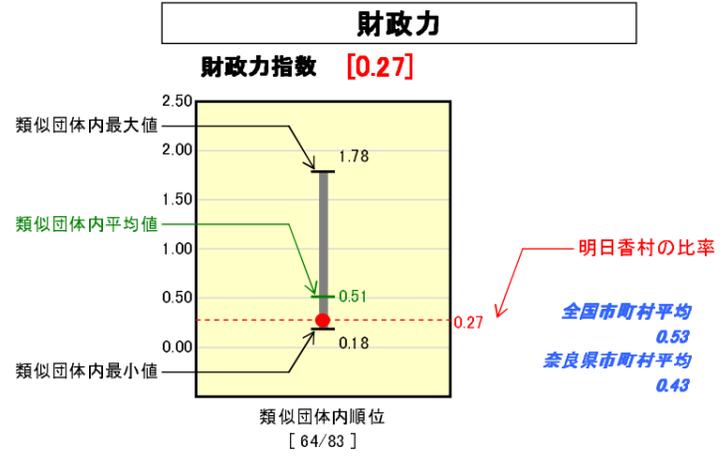


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 明日香村

人口	6,460人	(H19.3.31現在)
面積	24.08	km ²
歳入総額	4,447,003	千円
歳出総額	4,313,724	千円
実質収支	127,779	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- ・財政力指数…明日香法による規制があるので、住宅開発や法人への誘致が他の類団よりも困難な為基準財政収入額が低い。近年財政力指数が上がっているが、基準財政需要額の減少による。
- ・経常収支比率…16年度の102.4からは大幅に改善されたが下水道会計への繰出金において昨年度まで赤字繰出金(臨時)として扱った繰出金として77,000千円が0になり、分流式下水道等に要する経費(経常)90,000千円が新設となったことが大きな要因である。これを除くと96.8%となっている。
- ・人口1人当たり人件費・物件費…行革に伴い退職者不補充、経常経費の削減をしているが、18年度については電算費での臨時的なものが大きくなった。
- ・ラスパイレズ指数…退職者不補充により、減少傾向である。人経費総額についても減少している
- ・人口1人当たりの地方債現在高…年度中の起債借入額が償還額を上回らないようにしているため今後も減少していくと思われる。
- ・実質公債費比率…平成16年度で減税補てん債の満期一括償還を借り換えしなかったため高い比率となっているが、地方債残高の減少していくので今後は減少していくと思われる。
- ・人口1000人当たり職員数…他の類団には見られない文化財課(7人)及び明日香法にまつわる事務などで、類団より高くなっている。本村の人口は7,000人未満であるので、その様な部分を加味すると、類団よりも低くなると思われる。